

平成30年度 社会福祉法人酒々井町社会福祉協議会事業報告

地域住民の様々な生活課題等、地域の特性に応じた福祉活動を推進するため、平成30年度事業計画に基づき地域福祉の推進を図るとともに、酒々井町役場への移転に伴い行政機関、ボランティア等各種関係団体との連携をさらに深め、住民サービスの向上に努めた。

また、行政の地域福祉計画と一体となった第2期地域福祉活動計画の初年度にあたり、地域福祉推進委員会を中心として計画推進のための検討を行ったほか、地域福祉フォーラムを住民活動のきっかけ作りや計画の周知の場として、規模を拡大して開催した。

1. 会の運営

(1) 理事会・評議員会の開催

本会の事業、組織、財政等の健全かつ適正な運営を図るための審議等を行った。

① 理事会

回数	開催日時	場 所	出席者	審 議 事 項
第1回	6月6日(水) 午前10時～	中央公民館 学習室	理事 9名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の一部改正について ・給与規程の一部改正について ・平成29年度事業報告の承認について ・平成29年度資金収支決算の承認について ・平成30年度資金収支補正予算(案)の承認について ・定時評議員会の開催について ・評議員選任・解任委員会委員の選任について
第2回	10月15日(月) 午前10時～	役場西庁舎 会議室	理事 11名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・定款施行細則の全部改正について ・公印規程の全部改正について ・援護費・災害等見舞金支給規程の全部改正について ・平成30年度資金収支補正予算(案)の承認について ・評議員会の開催について ・理事候補者の推薦について
第3回	12月19日(水) 午前10時～	役場西庁舎 会議室	理事 9名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・給与規程の一部改正について ・平成30年度資金収支補正予算(案)の承認について ・評議員会の開催について ・副会長の選任について
第4回	3月19日(火) 午前10時～	役場西庁舎 会議室	理事 8名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度資金収支補正予算(案)の承認について ・平成31年度事業計画(案)の承認について ・平成31年度資金収支当初予算(案)の承認について ・評議員会の開催について

② 評議員会

回数	開催日時	場 所	出席者	審 議 事 項
第1回	6月21日(木) 午前9時30分～	中央公民館 研修室	評議員 13名 監事1名	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告の承認について 平成29年度資金収支決算の承認について 平成30年度資金収支補正予算書(案)の承認について
第2回	10月26日(金) 午前10時～	中央公民館 研修室	評議員 9名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度資金収支補正予算(案)の承認について 理事の選任について
第3回	1月11日(金) 午前10時～	中央公民館 研修室	評議員 10名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度資金収支補正予算(案)の承認について
第4回	3月28日(木) 午後1時30分～	中央公民館 会議室	評議員 9名	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度資金収支補正予算(案)の承認について 平成31年度事業計画(案)の承認について 平成31年度資金収支当初予算(案)の承認について

(2) 監 査

監 査 名	開催日時	出席者	監 査 事 項
監事監査	5月15日(火)	監 事 2名 会 長 副会長 2名	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業執行状況について 平成29年度経理状況について 財産管理について
内部会計監査	5月28日(月) 7月25日(水) 10月29日(月) 1月29日(火) 3月28日(木)	監査担当 理 事	<ul style="list-style-type: none"> 経理規程等に基づいて、適正妥当な会計処理がなされているかどうかを監査した

(3) 会長・副会長会議の開催

- ・翌月の事業等について、毎月1回の開催

(4/25 5/28 6/27 7/25 8/27 9/28 10/29 11/27 12/27 1/29 2/26 3/28)

(4) 関係機関団体との連絡調整

関係福祉団体の運営協力と活動支援を行い、各団体との連携を図った。

- ① 酒々井町社会福祉施設協議会の事務局として庶務、会計業務を行った。

- ・酒々井町社会福祉施設協議会総会(5月31日)

- ② 民生委員児童委員関連業務

ア 毎月の定例会に出席し、情報交換・連絡調整を行った。

イ 民生委員児童委員と協力し、在宅福祉サービス等の充実強化を図った。

- ③ 印旛香取地区中途失聴者・難聴者のための手話学習会と手話サロンへの助成

助成額 10,000円

対 象 印旛地区中途失聴者・難聴者

(5) 職員研修の実施・事務局機能の強化

①職員研修（外部研修）

ア 生活困窮者支援調整会議

4/10 6/12 7/10 8/7 9/11 10/9 11/13 12/11 1/10 2/12 3/12

イ 共同募金会事業関係

- ・事務担当者会議 4/26 8/21
- ・事務局長会議 7/9 3/8
- ・印旛地区ブロック会議 2/4

ウ 日常生活自立支援事業関係

- ・現任専門員研修会 7/25
- ・生活支援員・担当者等研修会 10/2
- ・事業連絡会議 3/1

エ 日本赤十字社事業関係

- ・地区・分区新任事務委員研修会 4/25
- ・印旛地区赤十字連絡協議会 6/29 2/25
- ・地区・分区事務委員連絡会議 2/19

オ ボランティア関係

- ・ボランティアリーダー・マネジメント研修 8/3
- ・ボランティアセンター・市民活動支援センター合同研修会 11/13、1/9
- ・県内大学ボランティアセンター等情報交換会 11/28
- ・災害ボランティアセンター立上げ・運営訓練（習志野市社協主催）2/24

カ 人権教育セミナー 1/18 2/14

キ 障害者福祉関係

- ・県身体障害者福祉指導者総括研修会 9/11

ク 会長・事務局長関係

- ・市町村新任事務局長研修 5/14
- ・市町村福祉担当課長・社協事務局長合同会議 5/18
- ・社協会長・事務局長合同研修会 7/17
- ・市町村事務局長研修会 11/12
- ・印旛ブロック市町社協会長・事務局長会議 2/5
- ・市町村社会福祉協議会事務局長会・千葉社協連絡協議会合同研修 3/5

ケ その他研修

- ・成田印旛地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 5/25
- ・千葉県社協職員連絡協議会階層別研修（新任研修） 6/11
- ・関東ブロック郡市町村社協職員合同研究協議会 7/12～13
- ・市町村社会福祉協議会地域福祉・地区社協担当者スキルアップ研修 8/23

- ・「酒々井学」研修 9/6 9/13 11/9
- ・副町長職員研修 11/6 1/22 1/31
- ・成年後見制度利用促進セミナー 12/4
- ・千葉県社協職員連絡協議会一般研修・交流事業 12/6
- ・認知症地域支援推進員事業 多職種協働研修会 1/22
- ・ハラスメント研修 1/23
- ・いんば圏域福祉関係者合同研修会 1/25
- ・中核生活支援センター連絡調整会議 2/6
- ・山武郡地域福祉計画策定検討会 2/6
- ・議会対応研修 2/7
- ・千葉県子ども食堂ネットワーク会議 3/13

② 事務局会議の開催

職員間の意思の疎通と共通理解の促進及び意見交換を目的に14回行った。

(4/10 5/15 6/13 7/9 8/9 9/10 10/9 11/15 12/10 1/10 2/4 3/4 3/18 3/25)

2. 自主財源の確保

(1) 会 費

会員が納入する会費は社協活動の貴重な自主財源であるため、社協の説明並びに会費の使われ方のPRに努めた。

①会員数および会費収入金額

会員区分	30年度	29年度	28年度
一般会費	2,875世帯	3,111世帯	2,938世帯
	1,437,542円	1,555,750円	1,469,000円
特別会費	316件	331件	333件
	891,000円	883,000円	894,000円
合 計	3,191世帯・件	3,442世帯・件	3,271世帯・件
	2,328,542円	2,438,750円	2,363,000円

②自治会・自治会長への説明

行政連絡員会議に出席し説明した。(4月21日)

(2) チャリティー事業

事業名	30年度	29年度	28年度
パークゴルフ大会	249,827円	244,291円	240,388円
チャリティバザー	325,691円	405,457円	434,510円

(3) 共同募金運動

募 金 名	30年度	29年度	28年度
赤い羽根共同募金	1,423,707円	1,472,632円	1,512,968円
歳末たすけあい募金	768,904円	719,437円	744,399円

(4) 「ふくしの箱」・寄附金の状況

種 別	30年度	29年度	28年度
ふくしの箱	17か所	19か所	20か所
	33,454円	34,149円	27,185円
一般寄附金	47件	42件	42件
	1,156,322円	1,464,504円	1,427,698円
社会福祉振興基金積立金寄附金			

(5) 社協しすい有料広告 8件 40,000円

(6) 自動販売機(9台)設置収益 579,013円

3. 広報事業

(1) 社協広報紙「社協しすい」を4、7、10、1月の各1日に発行した。

発行部数 6,000部

新聞折込み数 5,750部

(2) ホームページ・SNSでの情報提供

facebookによる幅広い年齢層への情報提供を行ったほか、ホームページのリニューアルを行い、デザインの一新やスマートフォンへの対応等、内容の充実に努めた。

4. ボランティア活動の推進と育成

(1) ボランティア活動の推進

酒々井町ボランティア協議会に登録されているボランティアは、8グループ179名、個人42名(内 災害ボランティア4名)の計221名で福祉ニーズに応じ、それぞれの活動を行った。

①給食サービス「菜のはな会」

調理に携わるボランティア41名(栄養士1名を含む)は3班に編成されており、配食ボランティアとして活動している会員は8名である。

②朗読奉仕「虹」

会員11名で、目の不自由な方等に社会福祉協議会広報紙「社協しすい」、町広報紙「ニューしすい」等をCDに録音し、お届けした。

③手話を学ぶ会「仲間」

会員29名で聴覚障害者の方との交流を深めるとともに、手話技術の向上と普及に努めた。

④明るい社会づくり推進協議会酒々井支部

会員38名で使用済切手の整理、また地域の美化運動としてゴミ収集活動、小中学生を対象としたポスター作品展を実施した。

⑤更生保護女性会

会員7名で女性として母親の立場から、犯罪予防と非行に陥った青少年の更生活動、施設訪問を行った。

⑥手話ダンス・しすい

会員12名で手話ダンスを通じ、児童との交流や、高齢者・障害者施設への訪問を行った。

⑦傾聴ボランティア「かざぐるま」

会員9名で特別養護老人ホーム「エコトピア酒々井」や個人宅を訪問しての活動を11回実施した。また、毎月第1金曜日のふれあいサロン「かざぐるま」と出張サロン(1回)の実施に協力した。

⑧住みよい酒々井をつくる防災の会

千葉県災害コーディネーター養成講座修了者及び防災士資格者の会員13名が、社会福祉協議会が主催する防災講座での指導や、要援護者避難訓練のアドバイザーとして活動した。

(2) ボランティア協議会活動の推進

- ①運営委員会の開催 10回
- ②広報委員会の開催 2回
- ③事業検討委員会の開催 2回
- ④「千葉県ボランティアのつどい」への参加助成 1回
(1月7～8日開催、1名参加)

(3) ボランティア入門・専門養成講座の開催

講座名	開催日時	場所	参加者数
手話初級講座	11月29日(木) 30日(金) 午前10時～	中央公民館視聴覚室	24名
音訳(朗読) ボランティア講座	1月24日(木) 2月28日(木) 3月8日(金) 3月14日(木) 午前10時～	プリミエール会議室 中央公民館和室	11名
傾聴入門講座	3月8日(金) 午後1時30分～	中央公民館工芸室	25名
傾聴スキルアップ講座	3月15日(金) 午後1時30分～	中央公民館学習室	22名
防災講座	3月16日(土) 午前10時～	中央公民館講堂	26名

※facebook やホームページの掲示により、幅広く PR 活動を行った。

5. ワンコインサービス事業

高齢者や障害者等のいる世帯で、日常生活の「ちょっとした困りごと」を、地域の登録ボランティアが代わりに行う有償のボランティアサービスを行った。

ボランティア登録者数	利用回数	サービス内容	回数
61名 (内、活動者8名)	215回	ごみ出し	211回
		エアコンフィルター清掃	1回
		パソコン移動	1回
		買物	2回

6. ふれあいサロン事業

傾聴ボランティア「かざぐるま」の協力により、誰もが気軽に集まれる場を開設し、お茶を飲みながら楽しく交流していただいた。また、他市町村の傾聴ボランティアとの交流会を実施し、情報共有やボランティア間の親睦を図るとともに、傾聴技術の向上に努めた。

(1) ふれあいサロン「かざぐるま」の開催（毎月第1金曜日）

開催回数 12回 利用者数 112名

(2) 出張サロンの開催

開催場所	開催日	利用者数
墨ふれあい館	11月16日	20名

7. 在宅福祉推進事業

(1) 生活援助用具の貸出し

車いす	電動ベッド	シルバーカー	松葉杖	杖	シャワーチェア	歩行器	合計
35件	6件	0件	1件	2件	1件	1件	46件

(2) 生活援助用具購入助成

生活に必要な補助用具の購入に対し、1世帯につき年1回の助成（限度額5万円補助率2/3）を行った。

助成件数	助成内容	助成金額
6件	パルスオキシメーター 1件	124,000円
	洋風便座両用型デラックス 1件	
	手すり 1件	
	四点杖 1件	
	車椅子 2件	

(3) 給食サービス

ボランティア団体「菜のはな会」により、75歳以上の一人暮らし高齢者に対し、毎月第1、3、4木曜日(9/7~3/22)に手作りの昼食を配布した。

7月5日木曜日に七夕まつりを開催した。(24名参加)

	30年度	29年度		28年度	
	給食サービス	ヤクルト 4月~9月	給食 9月~3月	給食 4月~1月	ヤクルト 2月~3月
対象者	137名	66名	126名	124名	92名
配食回数	31回	42回	17回	25回	14回
配食数	3,115食	5,697名分	1,741食	2,201食	507名分

(4) 朗読サービス

ボランティア団体朗読奉仕グループ「虹」により、目の不自由な方等に社協の広報紙、町広報紙等を録音し、お届けした。

対象者 5名

録音回数 20回(社協しすい 4回、広報ニューしすい 12回、議会だより 4回)

8. 高齢者福祉事業

高齢者が健康で豊かな生きがいのある生活を送れるよう支援に努めた。

(1) 水仙クラブ連合会事務局の運営

①町水仙クラブ連合会(21クラブ・会員数361名)事業の開催

主な事業：ハイキング、パークゴルフ大会、囲碁将棋大会、作品展の実施
総会、役員会の開催

②印旛地区高齢者クラブ連合会事業への参加

③なのはなシニア千葉(千葉県老人クラブ連合会)事業への参加

(2) 老人福祉大会(9月18日 敬老の日)を町と共催し、午前・午後の2部制で開催。

午前 315名、午後 242名 合計557名参加

①88歳長寿者顕彰(記念品贈呈) 73名

②老人クラブ代表による演芸会 2クラブ・28名出場

(3) ゲートボール協会事務局の運営

9. 児童福祉事業

町子ども虐待防止対策協議会との連絡調整や実務者研修(2月8日開催)に参加し、関係機関との連携を図った。

10. 障害者(児)福祉事業

障害者(児)の福祉の増進と障害者(児)に対する正しい理解の普及に努めた。

(1) 町心身障害者福祉会事務局の運営

①町心身障害者福祉会事業の開催 主な事業：総会の開催

②県・印旛地区身障福祉会事業への参加

(2) 「手をつなぐ親の会」の活動支援

(3) 「ひなげしの会」の開催

町内の障害者どうしの交流を深めるための交流会を開催した。(26名参加)

(4) 「町心身障害者福祉会」・「手をつなぐ親の会」合同親睦旅行の実施

(東京都墨田区・品川区)

1 1. 福祉教育の推進

児童、生徒が福祉に対する関心及び正しい理解を深めてもらうための支援を行った。

(1) 福祉教育活動への支援

酒々井小学校5年生(3クラス)の車いす、高齢者疑似体験に協力した。

また、ボランティア協議会主催で、酒々井小学校6年生(3クラス)を対象に「酒々井小学校盲導犬出張講座」を開催した。

(2) 夏休みボランティアスクールの開催

①夏休み親子ボランティア講座

開催日	場所	参加者数	内容
7月23日(月)	西部防災センター (松戸市)	小学生17名 保護者 3名	・地震体験をすることにより、防災知識を学ぶ
7月31日(火)	中央公民館 講堂 他	小学生5名	・つくってみよう! 「しすいまちふくしまップ」

1 2. ひとり親家庭支援事業

白ゆり会と協力し、ひとり親家庭同士の交流を深めるための事業を行った。

(1) 白ゆり会(町母子寡婦福祉会)活動への支援

(2) クリスマス会の実施 (12月23日) 22名参加

1 3. 共同募金事業

広く社会福祉事業に対する住民の意識を高めるとともに、地域自治会の協力により募金を実施し、配分した。

(1) 赤い羽根共同募金運動の実施

10月から12月に自治会を経由し、1世帯500円を目安に募金の協力をお願いした。

(2) 歳末たすけあい募金運動の実施と配分

12月に自治会を経由し、1世帯200円を目安に募金の協力をお願いした。

[配分]

① 75歳以上一人暮らし世帯へのおせち料理の配布

165名 516,780円

② 施設、団体へ助成

4施設2団体 210,000円

③ 歳末給食サービス事業

2回（材料費等） 117,500円

④ 歳末相談事業

2回（弁護士、専門相談員等） 114,000円

14. 善意銀行貸付事業

他の援助を受けられない生活困窮者等のため、一時的なつなぎとして町社協独自の資金の貸し付けを行った。

	30年度	29年度	28年度
相談件数	29件	23件	24件
貸付件数	28件	22件	22件
貸付金額	1,025,000円	823,000円	945,000円

15. 心配ごと相談・法律相談事業

毎週木曜日を相談日とし、第2・4木曜日は、法律相談として弁護士を招き、第1・3・5木曜日は、心配ごと相談として専門相談員、民生委員により相談に応えた。

相談名	30年度	29年度	28年度
法律相談	25日	21日	22日
	109件	70件	80件
心配ごと相談	16日	8日	15日
	24件	11件	25件

16. 日本赤十字社酒々井町分区事業

赤十字思想の普及に努めるとともに、赤十字事業の基盤である活動資金募集活動を地域自治会並びに町赤十字奉仕団の協力により実施した。

(1) 活動資金募集運動（5～6月）実績額

募金名	30年度	29年度	28年度
一般協力者	1,327,465円	1,338,450円	1,310,900円
高額協力者	431,000円 個人194件・法人66件	454,000円 個人201件・法人70件	485,000円 個人211件・法人73件

(2) 赤十字奉仕団との連絡調整

- ①赤十字活動資金募集に係る打合せ会議の開催 4/23
- ②赤十字活動事業参加者募集等打合せ会議の開催 8/30
- ③社会福祉協議会特別会費募集に係る打合せ会議の開催 11/29

17. 町受託事業

介護支援ボランティア事業

65歳以上の方が施設等でのボランティア活動を通じて地域貢献することで、高齢者自身の介護予防の推進と、いきいきとした地域社会づくりを目的とした事業であり、管理機関としての業務を実施した。

(1) 介護支援ボランティアの登録並びにカードの交付及びボランティア保険の加入

登録者数	内 訳
41名	男性：14名 女性：27名

(2) 介護支援ボランティア評価ポイントの管理

活動者数	延べ活動日数	累計ポイント
5名 男性：4名 女性：1名	144日	241ポイント

(3) 介護支援ボランティア制度説明会及び研修会の開催に協力

開催日時	場 所	参加者数	内 容
3月19日(火) 午後1時30分～	役場中央庁舎 3階会議室	31名	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援ボランティア制度の説明 介護支援ボランティア制度研修会 (講師) 酒々井町地域包括支援センター 新見 恵一 氏 「認知症ってなんだろう？」 ～認知症の方の理解と対応～

18. 県社会福祉協議会受託事業

(1) 生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金貸付事業

低所得世帯、障害者世帯等の経済的自立と更生意欲の助長促進を図り安定した生活が営まれることを目的とした貸付を行った。

相談件数	貸付件数	貸付金額	貸付資金名
19件	5件	1,849,000円	緊急小口資金1件 100,000円
			療養費1件 1,200,000円
			転宅費1件 270,000円
			福祉費1件 69,000円
			教育支援資金1件 210,000円

(2) 日常生活自立支援事業

在宅で日常生活を送る上で、判断能力が十分でない高齢者や障害のある方の金銭管理、財産管理を行うとともに、生活支援員及び関係機関との連絡調整を行った。

相談件数 17件 ・ 新規契約者 6名 ・ 解約者 5名

利用者数	利用者内訳	支援員数 専門員数	支援回数	支援時間	支援内容
19名 (内生活保護 者数7名)	高齢者 11名 精神障害 1名 知的障害 5名 その他 2名	支援員 6名 (登録のみ3名)	50回	約78時間	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービス利用 援助 財産管理 財産保全
		専門員 3名	175回	約159時間	

19. 地域福祉フォーラム事業

第2期酒々井町地域福祉計画・地域福祉活動計画の周知を図るとともに、地域共生社会の実現に向けた「我が事・丸ごと」の地域づくりを考える場として、第7回酒々井町地域福祉フォーラムを開催した。

また、来場者に福祉に対する理解を深めてもらえるようオレンジカフェや介護用品の展示、各福祉団体の紹介と資料展示、何でも相談などを実施した。

- ・日 時 2月3日(日) 午後1時～4時
- ・場 所 プリミエール酒々井
- ・参加者 154名(前年比 44名増)

【開催内容】

1. 文化ホール

- ①計画の説明
- ②基調講演「我が事・丸ごと」の地域づくり
- ③しすいハート体操
- ④シンポジウム「地域共生社会をめざして」

2. ホワイエ・会議室

- ①オレンジカフェ
- ②介護用品の展示とデモンストレーション
- ③福祉団体による販売(花240鉢・手作り品)
- ④体組成計の測定体験
- ⑤なんでも相談(3件)

3. 会議室

- ①各福祉団体の紹介と資料の展示・配布(4団体・7事業所)
- ②健康相談(7名)

20. 震災(防災)に関する事業

(1) 義援金・救援金の受付、街頭募金の実施(日本赤十字社千葉県支部へ送金)

- | | | |
|-------------------|----|----------|
| ・東日本大震災 | 2件 | 42,779円 |
| ・平成28年熊本地震 | 3件 | 32,092円 |
| ・平成29年7月5日からの大雨災害 | 1件 | 30,000円 |
| ・平成30年豪雨災害 | 9件 | 235,011円 |
| ・平成30年北海道胆振東部地震災害 | 5件 | 192,613円 |

(2) 防災用品の整備(無線機2台購入、非常食420食入替)

(3) 災害時要援護者支援ボランティア会(災援会)の運営

2 1. 酒々井町地域福祉推進委員会

平成30年3月に策定した第2期酒々井町地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進と評価をするため、委員25名により推進委員会を組織し、委員会を3回開催した。

【推進委員会】

回数	開催日時	場所	出席者数	審議事項
第1回	12月25日(水) 午前10時～	役場 分庁舎 第2多目的室	24名	・委嘱状の交付 ・委員長、副委員長の選出 ・第2期酒々井町地域福祉推進計画・活動計画について ・酒々井町地域福祉フォーラムについて
第2回	1月17日(木) 午後1時30分～	役場 分庁舎 第2多目的室	21名	・推進3部会（安心・安全、協働、交流）と活動部会について ・酒々井町地域福祉フォーラムについて
第3回	3月22日(金) 午後2時～	役場 中央庁舎 3F会議室	21名	・地域福祉フォーラムについて ・計画の推進と評価について ・部会ごとに各テーマを協議

2 2. ふくしまップの周知

平成29年度に作製したふくしまップ第2弾を窓口で配布したほか、イベントでの周知やホームページでの公開を行った。

2 3. その他

(1) 新規車両の整備

千葉県共同募金会からの市町村社会福祉協議会地域福祉事業用車両助成事業により8人乗りワゴン車を整備した。

(2) 生活支援体制整備事業の協議体への参加

地域包括ケアシステムの推進に向け、町が設置する生活支援体制整備事業の協議体に参加し、地域福祉推進のための話し合いを行った。

(3) 生活困窮者自立支援事業との連携

毎月開催される支援調整会議に出席し情報共有を図るとともに、さかえ・しすいワークライフサポートセンターと連携して生活困窮者に対して資金の貸付や物品の提供、フードバンクによる食品の支援等を行った。

平成30年度 デマンド交通事業（しすいふれ愛タクシー）事業報告

1. ふれ愛タクシー運行実績

運行地域 町内全域およびさくら斎場（佐倉市）
日本医科大学千葉北総病院（印西市）
成田赤十字病院（成田市）

運行時間 午前8時から午後5時まで

登録者数

	30年度	29年度	28年度
登録世帯数 (登録率)	3,084世帯 (31.4%)	3,021世帯 (30.9%)	2,969世帯 (30.7%)
登録人数 (登録率)	7,541人 (36.3%)	7,406人 (35.4%)	7,297人 (33.8%)

利用者数

	30年度	29年度	28年度
運行日数	244日	244日	243日
利用者数	13,604人	14,837人	17,555人
1日平均	55.8人	60.8人	72.2人

利用回数

【乗車場所】

①せんだう	1,028回
②ナリタヤ	658回
③トライアル	405回

【降車場所】

①成田赤十字病院	1,244回
②しすい整形クリニック	1,149回
③京成酒々井駅東口	1,112回

2. スクールバス運行実績

運行地域 伊籾・伊籾新田地区、馬橋・ネオポリス地区

運行時間 登校：午前7時20分頃から午前8時まで

下校：酒々井小学校の下校時刻による

利用者数

	30年度	29年度	28年度
運行日数	201日	201日	202日
利用者数	8,296人	8,140人	14,232人
対象児童人数	28人	33人	50人

3. 利用券販売実績

	30年度	29年度	28年度
一般利用券	4,623冊	5,091冊	6,056冊

4. 運行委員会

平成30年6月21日（木）平成30年度第1回運行委員会 開催

平成31年3月28日（木）平成30年度第2回運行委員会 開催

5. 車体広告掲載企業

（有）あいのやま塗装 2枚